

容量市場業務マニュアル（実効性テスト編） 実需給2028年度向けの意見募集の実施について 補足説明資料

2025年12月
電力広域的運営推進機関

本資料は、意見募集についての補足資料であり、
意見募集の対象資料ではありません。
ご意見をいただく際の参考に、こちらの資料も確認のほどお願いします。

1. はじめに
2. 今回の意見募集対象文書
3. 本業務マニュアルの構成
4. 前年度からの主な変更点

- 実需給2028年度向け容量市場業務マニュアルのうち、「容量市場業務マニュアル 実効性テスト編」について、2025年度の業務実績や事業者からの問合せ等を踏まえた**手続きの一部見直し、説明の充実化や記載の明確化のために**、前年度（実需給2027年度向け）から**加筆・更新をする**ものです。
- 意見募集期間は12月11日（木）～12月24日（水）とし、意見募集を踏まえて必要に応じ加筆修正を行ったうえで初版として公表します。

■ 今回の意見募集対象は以下のとおり。

関連文書		概要	公表状況
容量市場募集要綱 ※1※2	容量市場メインオークション募集要綱	・メインオークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	2024～29年度向け 公表済
	容量市場追加オークション募集要綱	・追加オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	2024～26年度向け 公表済
	長期脱炭素電源オークション募集要綱	・長期脱炭素電源オークションへ参加希望する電気供給事業者に対して求める条件や参加方法等を規定	2023～25年度応札 公表済
容量確保契約書 ※1※3	容量確保契約約款	・メインオークションおよび追加オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定	公表済
	長期脱炭素電源オークション容量確保契約約款	・長期脱炭素電源オークションにおける容量提供事業者に求められる要件、容量確保契約金額その他の契約条件を規定	公表済
容量市場業務マニュアル ※1※2	メインオークション	参加登録・応札・容量確保契約書契約締結編	2024～29年度向け 公表済
		実需給前に実施すべき業務（全般）編	2024～28年度向け 公表済
		電源等差替編	2024～27年度向け 2028年度以降※3向け 公表済
		実効性テスト編	2024～27年度向け 公表済 28年度向け意見募集実施
		容量停止計画の調整業務編	2024～25年度向け 2026年度以降※3向け 公表済
		実需給期間中 リクワイアメント対応（安定電源）（変動電源（単独））（変動電源（アグリ））（発動指令電源）編	2024～25年度向け 公表済
		実需給期間中 ペナルティ・容量確保契約金額対応編	
		容量拠出金対応編	

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を実施 ※2：対象実需給年度毎に公表 ※3：対象実需給年度に依らず共通

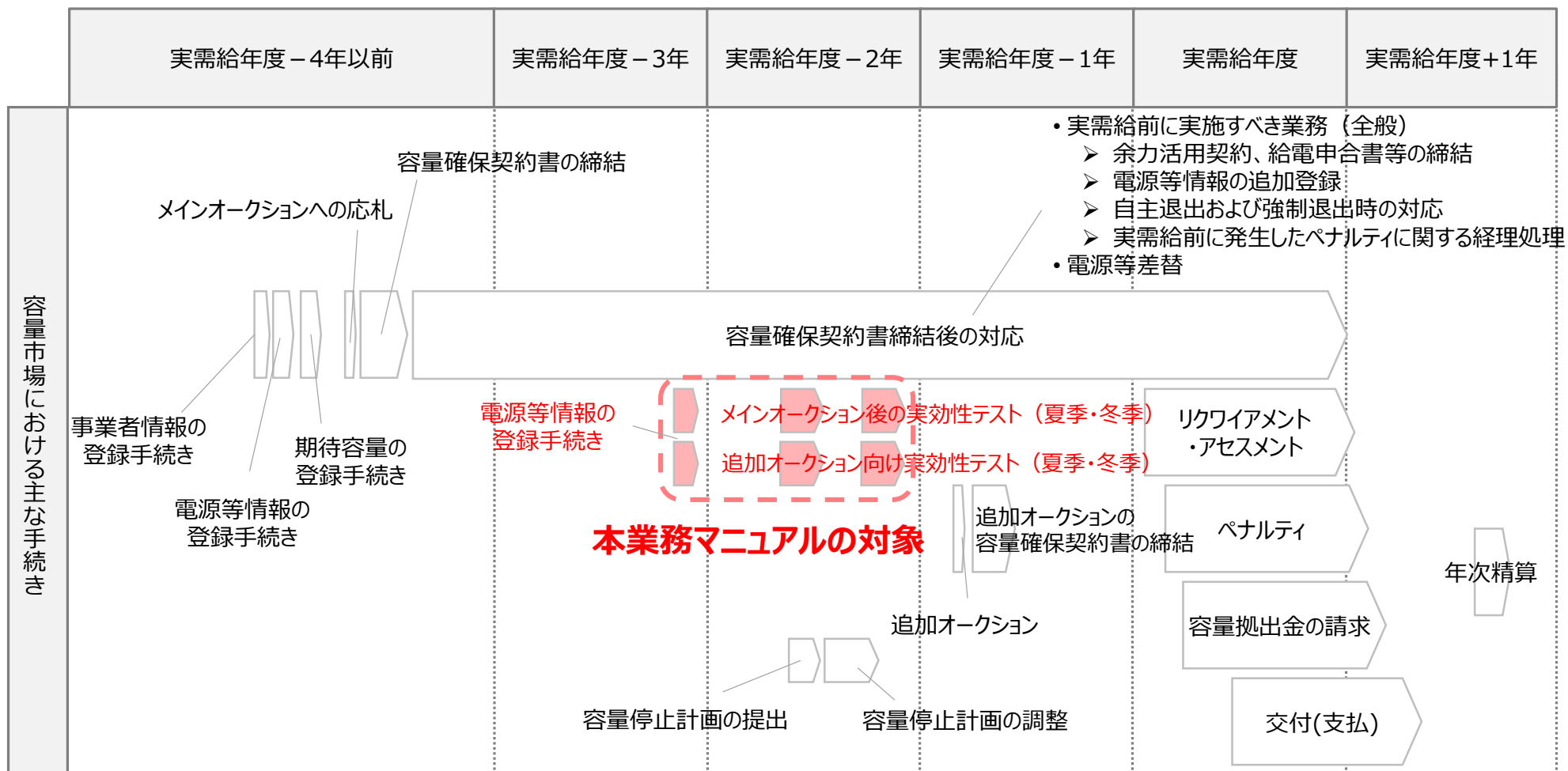
2. 今回の意見募集対象文書（2/2）

関連文書		概要	公表状況
容量市場 業務マニュアル ※1※2	追加 オーク ション	参加登録・応札・ 容量確保契約書の締結編	2024～26年度向け 公表済
	長期脱炭素電源オークション	参加登録・応札・ 容量確保契約書の締結編	2023～25年度応札 公表済
		電源等差替・市場退出・契約の変更 ・登録情報の変更業務編	公表済
		実需給期間前から発生する リクワイアメント対応編	
		ペナルティ・ 容量確保契約金額対応編	
		実需給期間中 リクワイアメント対応編	意見募集実施予定
		容量抛出金対応編	
容量市場 システム マニュアル※3	事業者情報・電源等情報登録 期待容量登録・応札・契約 電源等差替・実効性テスト ・容量停止計画・ アセスメント・ペナルティ・ 容量確保契約金額・支払・請求 編		公表済

※1：初回策定や大きな変更時は意見募集を実施 ※2：対象実需給年度毎に公表 ※3：対象実需給年度に依らず共通

- 容量市場の全体スケジュールは以下のとおりです。
- 今回の意見募集の対象は、発動指令電源の実効性テストに必要な手続きや容量市場システムの操作方法を定めた業務マニュアルとなります。

【容量市場全体スケジュール（参加登録～実需給年度中）】



- 本業務マニュアルの構成は以下のとおりです。

章		内容
第1章	はじめに	本業務マニュアルの構成
第2章	電源等リスト登録	電源等リストの登録・変更手続き
第3章	実効性テスト	実効性テストの実施および前後の手続き
Appendix		様式一覧、図表一覧、業務手順全体図

4.前年度からの主な変更点

- 前年度からの主な変更点は、2025年度の業務実績や事業者からの問合せ等を踏まえた**手続きの一部見直し、説明の充実化や記載の明確化**となります。

前回の業務マニュアル（対象実需給年度：2027年度向け）からの主な変更点

業務マニュアルの反映箇所

■ 実効性テスト業務に関する年間スケジュールの見直し

- 従来「暦日で期日設定」していた部分を、「通知日からの一定期間経過日や、広域機関からの指定日を期日」とするよう変更するなど、事業者、広域の双方の負担が軽減するよう、各種スケジュールの見直しを実施。

1. はじめに
表1-1 実効性テスト業務の主なスケジュール

■ 1地点複数応札で安定電源として落札されなかった場合の明記

- 安定電源で、アセスメント対象容量まで供給力を提供してもなお、需給ひっ迫時に発動指令電源として追加の供給力を提供できる場合は、発動指令電源の1リソースとしての登録が可能。ただし安定電源として落札されなかった電源は発動指令電源の1リソースとして電源等リストに登録することはできない旨を明記。

2.1.2.2 電源等リストの作成
表2-4 電源等リストの記載項目一覧（電源）②

■ 実効性テストにおける供給力の精算方法の変更

- 実効性テストにおける供給力について、従来は一部を調整力精算としていたが、今後は全てインバランス精算となることを追記。

3.2.1.2 実効性テストの実施

■ 更新申込の期日以降の電源等リストの更新手続きの明記

- 電源等リストの更新申込の期日以降、実効性テスト実施までに一般送配電事業者の都合等やむを得ない理由で地点特定番号が変更された場合に限り、発動実績登録時に新旧番号の読替表を所定の様式にて証憑を添えて提出するよう明記。

3.3.2.1 事前準備

3.3.2.1 事前準備
表3-5 発動実績算定諸元一覧の記載項目
（電源シート）①